各　　位

2021年3月16日
株式会社アドベンチャー
東京都渋谷区恵比寿4-20-3　恵比寿ガーデンプレイスタワー24F
代表取締役社長　中村　俊一
（コード番号：6030 東証マザーズ）
問い合わせ先　取締役　中島　照
電話（03）6277－0515

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2021年3月11日（木）　17:15～18:15
開催方法	対面による実開催とウェビナーによる同時配信
開催場所	東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル2F アナリスト協会第2セミナールーム
説明会資料名	2021年6月期　第2半期決算説明資料

【添付資料】
1．決算説明会において使用した資料

以 上

ADVENTURE

～日本初のグローバルOTAへ～

2021年6月期第2四半期

決算説明資料

株式会社アドベンチャー

（証券コード：6030）

skyticket

目次

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

1. ハイライト ---- 3
2. 主な出来事 ---- 4
3. 連結PL・BS ---- 5
4. 会社別PL・BS ---- 7
5. セグメント別PL ---- 9
6. 単体コンシューマ事業内訳 ---- 10
7. 今期の予定 ---- 11
8. アプリDL数とアプリ比率 ---- 12
9. 主要サービス推移 ---- 13
10. 各種KPI推移 ---- 23
11. 子会社の状況 ---- 26
12. 業績推移 ---- 31
13. その他 ---- 33

1. ハイライト

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

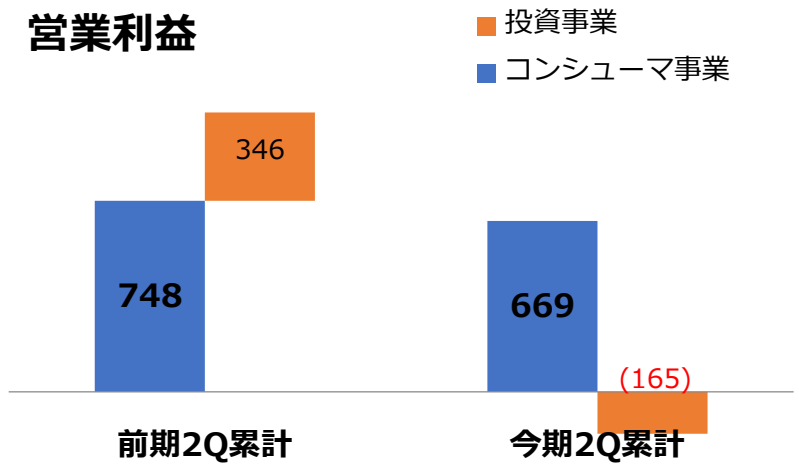
新型コロナウイルス感染症の影響

➥減収減益の中でも黒字をキープ

- 国内航空券取扱高(申込)…前年2Q累計比較 38%
- 海外航空券取扱高(申込)…前年2Q累計比較　2%
- 営業利益…2Q累計 504百万円

➥投資事業が大幅減益の一方、コンシューマ事業は順調

- コンシューマ事業営業利益
  …前年2Q累計比較 89%



2. 主な出来事

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

日付	ニュース
2020/10/23	Peach Aviation 株式会社と代理店契約締結
2020/10/23	もっとTokyo割当数の上限件数到達による販売停止
2020/10/28	宿泊施設の予約・販売管理システム『ねっぱん！』と API連携開始
2020/11/13	旅行・観光・航空業界の会社に現在お勤めになられている方および内定取消となった新卒学生を対象として人員の採用を実施
2020/11/30	旅行関連アプリ「skyticket」が、約60日で100万ダウンロードを伸ばし、iOS・Androidで累計1,600万ダウンロードを達成
2020/11/30	国内航空券においてチャブ保険が提供する『旅のキャンセル保険』の販売を開始

3. 連結BS・PL

①2Q BS

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

子会社売却等によりのれんと有利子負債が減少（前4Q 98億円⇒当2Q 60億円）
自己資本比率（親会社所有者帰属持分比率）は16.5%に改善

（単位：百万円）

	2020 4Q	2021 2Q	増減（率）
流動資産	**11,888**	**8,281**	**▲3,606（ 70%）**
現金および現金同等物	6,998	4,232	▲2,765（ 60%）
非流動資産	**5,020**	**3,137**	**▲1,882（ 63%）**
のれん	1,818	1,137	▲680（ 63%）
資産合計	**16,908**	**11,419**	**▲5,488（ 68%）**
流動負債	**11,810**	**7,409**	**▲4,400（ 63%）**
非流動負債	**3,621**	**2,128**	**▲1,493（ 59%）**
負債合計	**15,432**	**9,537**	**▲5,894（ 62%）**
資本合計	**1,476**	**1,881**	**405（127%）**
負債及び資本合計	**16,908**	**11,419**	**▲5,488（ 68%）**

3. 連結BS・PL
②2Q PL

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

2Q会計期間（10月～12月）はツアーの申込が収益に貢献、投資事業のマイナスの影響があるものの、黒字で着地

（単位：百万円）

	2020 2Q	2021 2Q	増減（率）
収益	12,185	**10,923**	**▲1,261(90%)**
営業総利益	3,475	**1,754**	**▲1,720(50%)**
販管費及び一般管理費	2,803	**1,531**	**▲1,271(55%)**
うち広告宣伝費	1,750	**777**	**▲973(44%)**
営業利益	675	**265**	**▲410(39%)**
四半期利益	442	**160**	**▲281(36%)**
親会社の所有者に帰属する四半期利益	440	**160**	**▲280(36%)**

※売却済、清算済の子会社は非継続事業としてPLから除外して比較

3. 連結BS・PL

③2Q PL累計

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

グループ全体においてコロナウィルス感染症の影響ある中で黒字をキープ

（単位：百万円）

	2020 2Q累計	2021 2Q累計	増減（率）
収益	23,266	**18,480**	**▲4,785(79%)**
営業総利益	7,289	**3,458**	**▲3,831(47%)**
販管費及び一般管理費	6,198	**3,084**	**▲3,114(50%)**
うち広告宣伝費	4,075	**1,589**	**▲2,486(39%)**
営業利益	1,095	**504**	**▲590(46%)**
四半期利益	605	**422**	**▲183(70%)**
親会社の所有者に帰属する四半期利益	617	**427**	**▲189(69%)**

※売却済、清算済の子会社は非継続事業としてPLから除外して比較

4. 会社別BS・PL

①会社別2Q BS

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

子会社売却等により有利子負債を削減

2021年6月期2Q

（単位：百万円）

	当社	コスミック流通	コスミックGC	ラド観光	EDIST	TET	その他（連結調整等）	合計
資産合計（対前4Q比）	**8,267**（88%）	**1,941**（91%）	**246**（105%）	**1,005**（112%）	**70**（75%）	**126**（46%）	**▲248**（-）	**11,419**（68%）
負債合計（対前4Q比）	**6,818**（84%）	**1,680**（89%）	**215**（89%）	**774**（115%）	**80**（87%）	**36**（19%）	**▲67**（-）	**9,537**（62%）
内有利子負債（対前4Q比）	**4,710**（98%）	**1,550**（89%）	**170**（100%）	**242**（134%）	**56**（81%）	**-**（-）	**▲706**（-）	**6,021**（62%）
純資産（対前4Q比）	**1,265**（115%）	**261**（107%）	**30**（-）	**231**（103%）	**▲9**（-）	**89**（107%）	**▲180**（54%）	**1,881**（127%）

4. 会社別BS・PL

②会社別2Q PL

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

単体の営業利益は大幅な減収にもかかわらず516百万円と比較的好調

2021年6月期2Q累計

（単位：百万円）

	当社	コスミック流通	コスミックGC	ラド観光	EDIST	TET	その他（連結調整含）	合計
収益	**3,008** (49%)	**10,983** (82%)	**6,529** (156%)	**535** (24%)	**153** (82%)	**10** (27%)	**▲2,741** (92%)	**18,480** (79%)
営業利益	**516** (77%)	**22** (23%)	**52** (2,118%)	**▲55** (203%)	**▲11** (18%)	**7** (20%)	**▲26** (-)	**504** (46%)

2020年6月期2Q累計

（単位：百万円）

	当社	コスミック流通	コスミックGC	ラド観光	EDIST	TET	その他（連結調整含）	合計
収益	**6,139**	**13,436**	**4,199**	**2,236**	**187**	**39**	**▲2,972**	**23,266**
営業利益	**669**	**96**	**2**	**▲27**	**▲62**	**35**	**380**	**1,095**

※非継続事業を除いた数値に組替え

5. セグメント別PL

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

コンシューマ事業が利益貢献し、前年同期比89%の営業利益を確保

2021年6月期2Q累計

（単位：百万円）

	コンシューマ事業		投資事業		調整		合計	
	前期2Q	今期2Q（前期比）	前期2Q	今期2Q（前期比）	前期2Q	今期2Q（前期比）	前期2Q	今期2Q（前期比）
収益	22,913	**18,645** (81%)	353	**▲164** (-)	-	**-**	23,266	**18,480** (79%)
営業総利益	6,936	**3,623** (52%)	353	**▲164** (-)	-	**-**	7,289	**3,458** (47%)
販管費及び一般管理費	6,191	**2,953** (48%)	7	**-** (-)	-	**-**	6,198	**2,953** (48%)
うち広告宣伝費	4,075	**811** (20%)	**-**	**-** (-)	-	**-**	4,075	**811** (20%)
営業利益	748	**669** (89%)	346	**▲164** (-)	-	**-**	1,095	**504** (46%)

※非継続事業を除いた数値に組替え

6. 単体コンシューマ事業内訳

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

取扱高・収益共に減少傾向にあるが、ツアーが貢献

2021年6月期2Q累計

（単位：百万円）

	国内航空券	海外航空券	ホテル	レンタカー	ツアー	その他	合計
取扱高	**10,881** (35%)	**▲302** (▲3%)	**614** (80%)	**92** (59%)	**1,631** (-)	**82** (48%)	**12,999** (32%)
収益	**2,494** (50%)	**75** (10%)	**47** (85%)	**92** (59%)	**173** (-)	**125** (88%)	**3,008** (49%)

2020年6月期2Q累計

（単位：百万円）

	国内航空券	海外航空券	ホテル	レンタカー	ツアー	その他	合計
取扱高	**31,261**	**8,799**	**771**	**155**	**0**	**171**	**41,158**
収益	**5,006**	**781**	**55**	**155**	**0**	**142**	**6,139**

※ツアー収益は連結上グロスで計上（取扱高＝収益）

7. 今期の予定

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

利益体質の強化

アプリ比率の向上による広告宣伝費の効率化
➥**1,700万ダウンロード**

主要航空券以外のクロスセルによる客単価の増加
➥**バス、レンタカー、ホテル、DP、空港送迎**

営業人員大量採用により早急に全国のホテルに営業ができる体制を構築
➥**宿泊施設の直接契約数の増加**

顧客利便性の向上によるリピート率改善
➥**ポイント制度、会員ステータス等の導入**

財務体質の強化

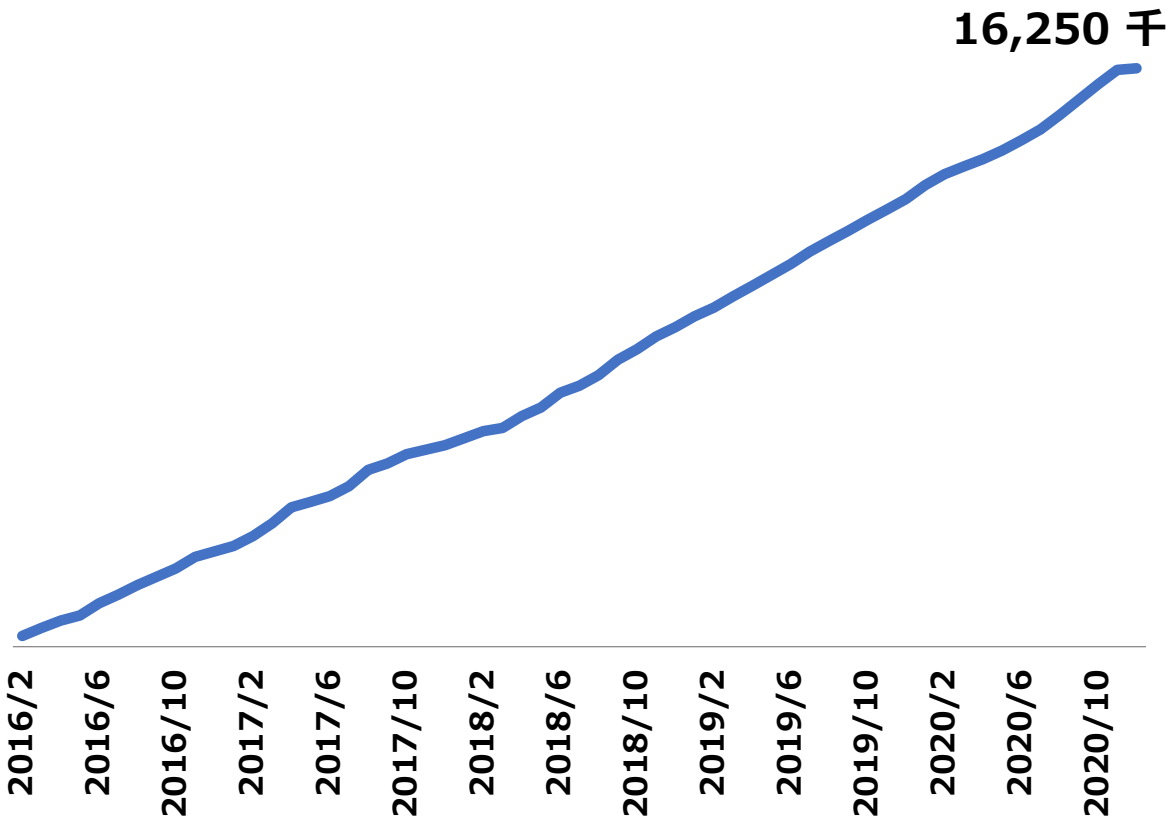
今期の利益拡大、有利子負債の圧縮等により自己資本比率の改善
➥**自己資本比率20%を目標**

8. アプリDL数とアプリ比率推移

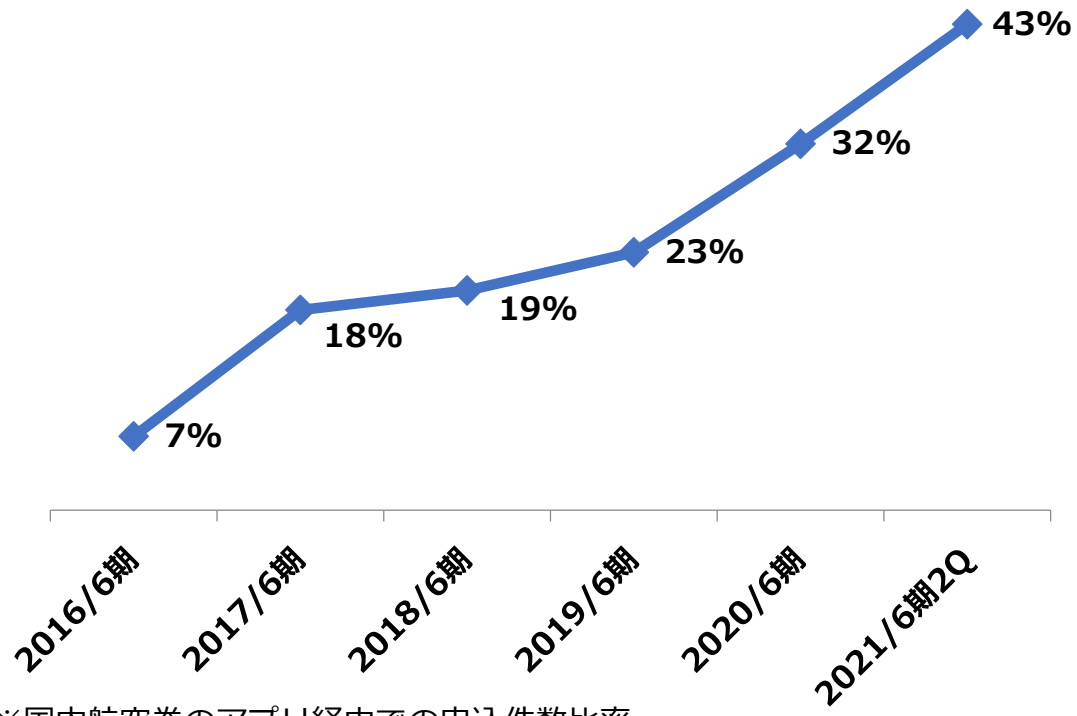
ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

アプリDL数増加に伴いアプリ経由での申込比率が増加傾向

アプリDL数



国内線アプリ申込比率



※国内航空券のアプリ経由での申込件数比率

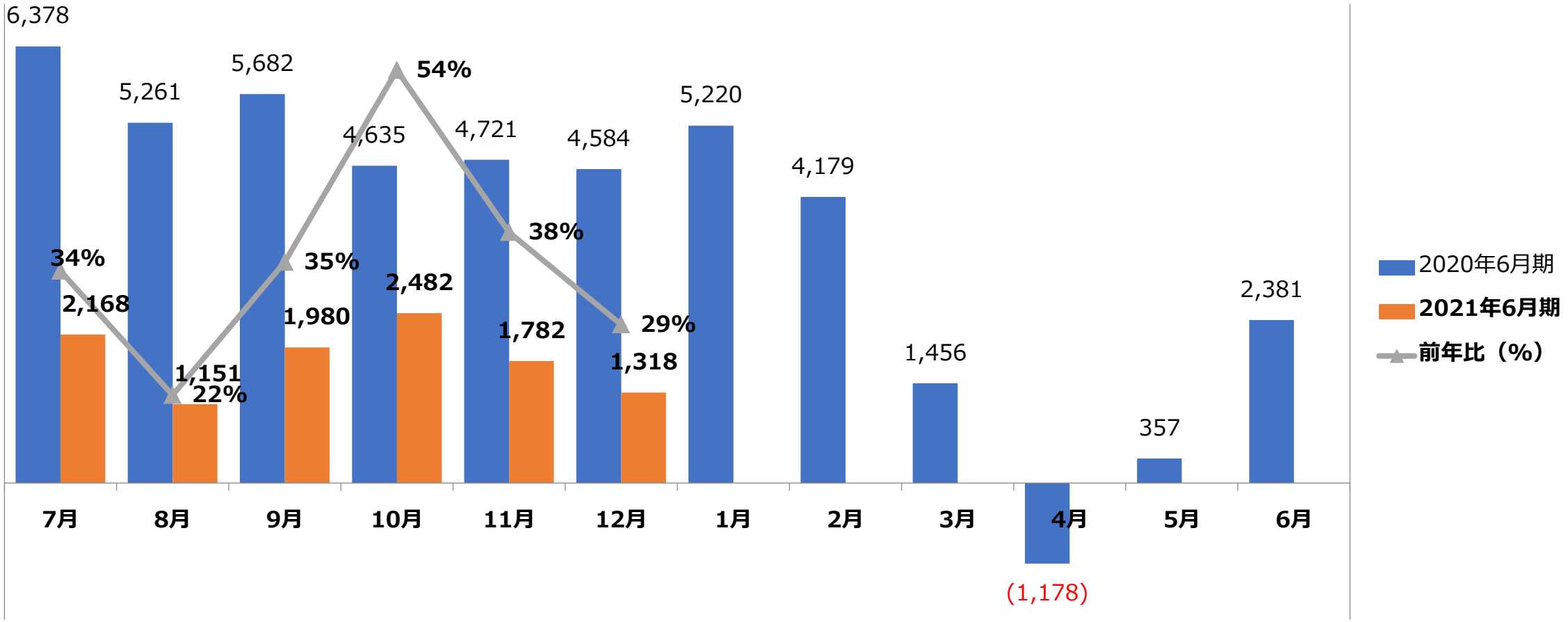
9. 主要サービス推移

①国内航空券取扱高

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

コロナ感染者数の増減数に応じて推移

（単位：百万円）



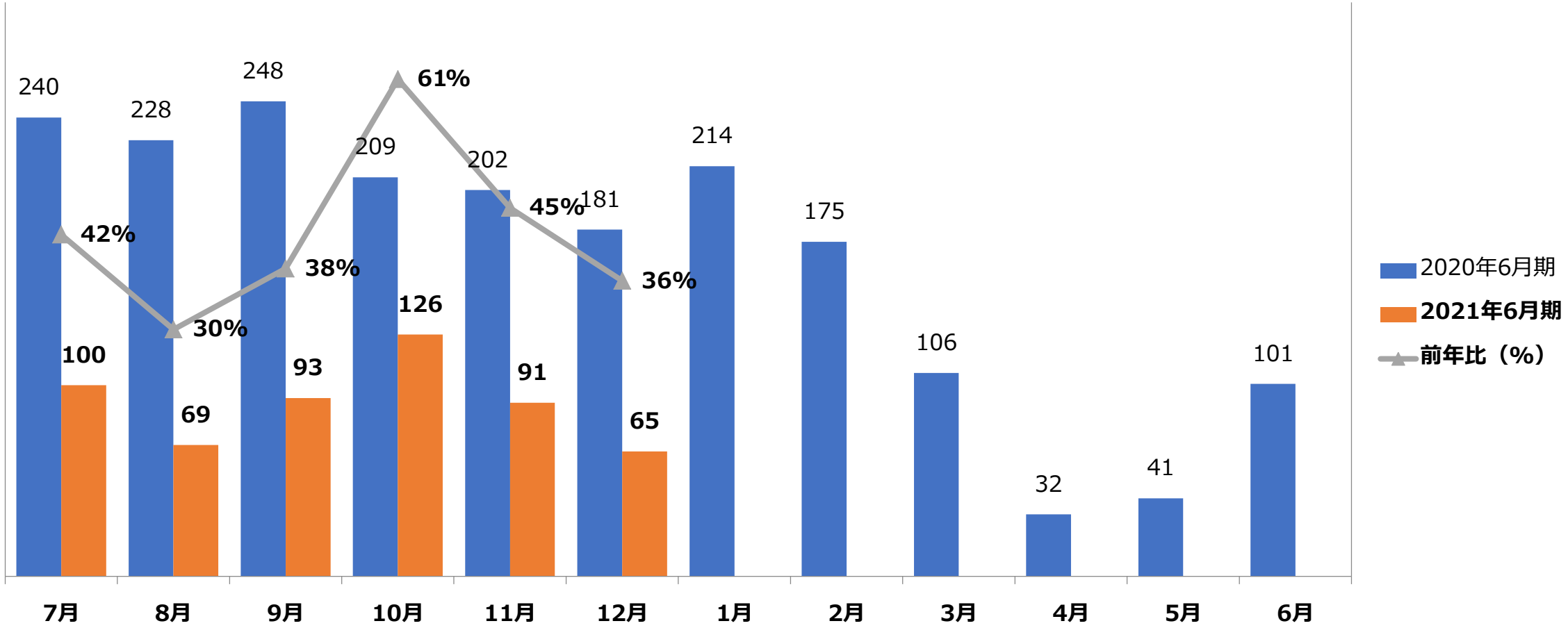
9. 主要サービス推移

②国内航空券申込件数

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

取扱高と同様にコロナ感染者数の増減数に応じて推移

（単位：千件）



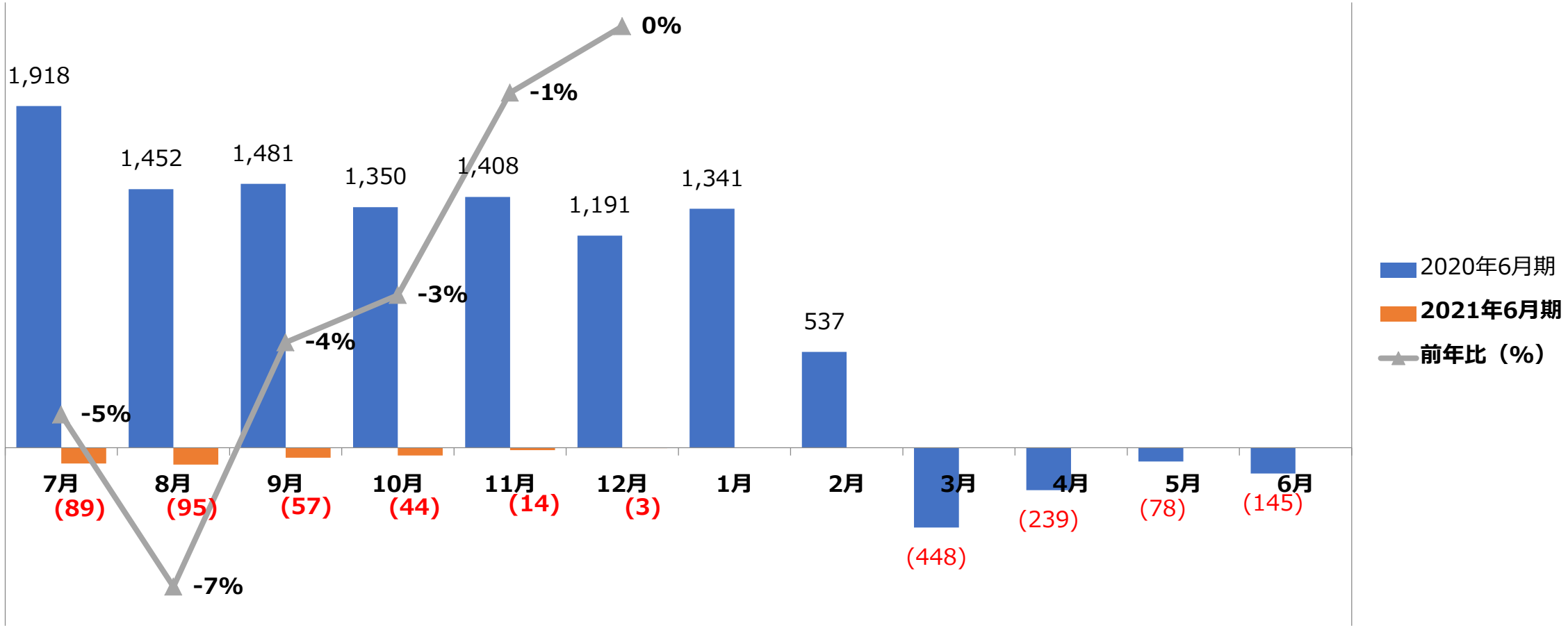
9. 主要サービス推移

③海外航空券取扱高

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

海外渡航が難しく、申込よりキャンセルが多い状況

（単位：百万円）



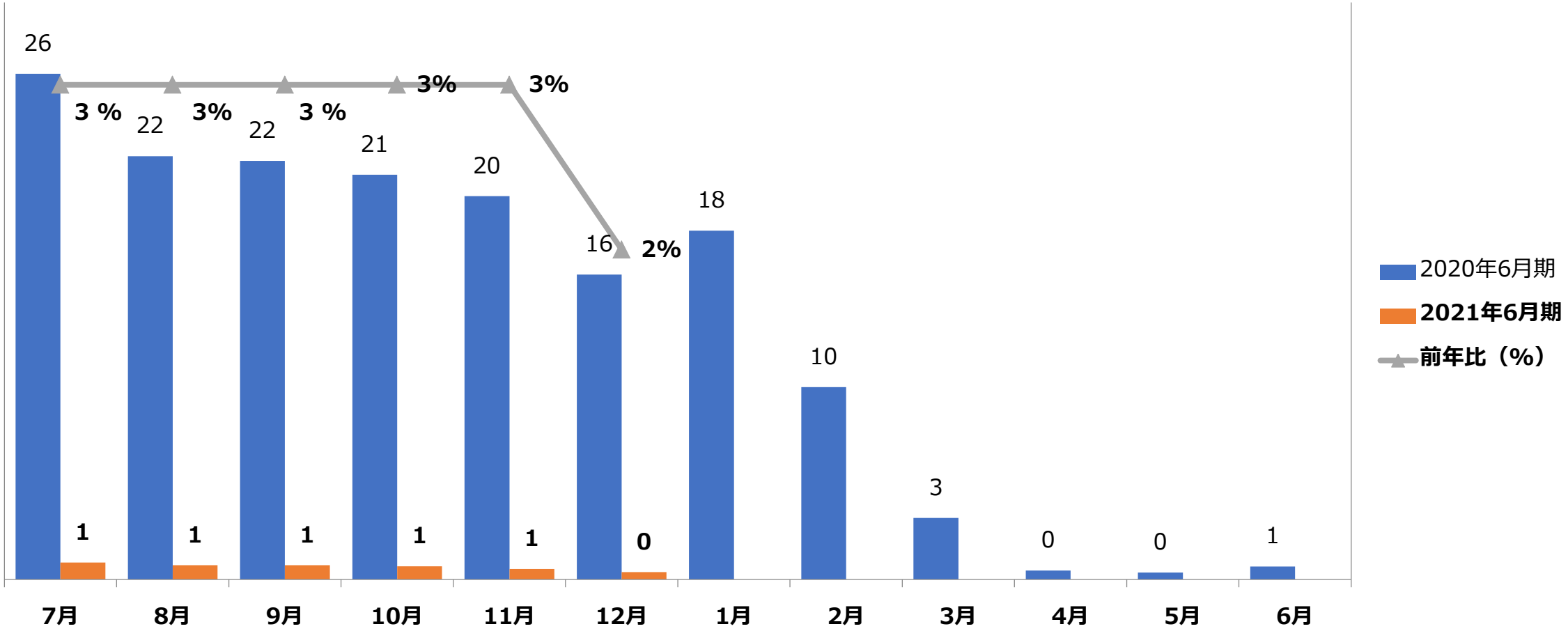
9. 主要サービス推移

④海外航空券申込件数

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

申込件数は前年比3%程度で推移

（単位：千件）



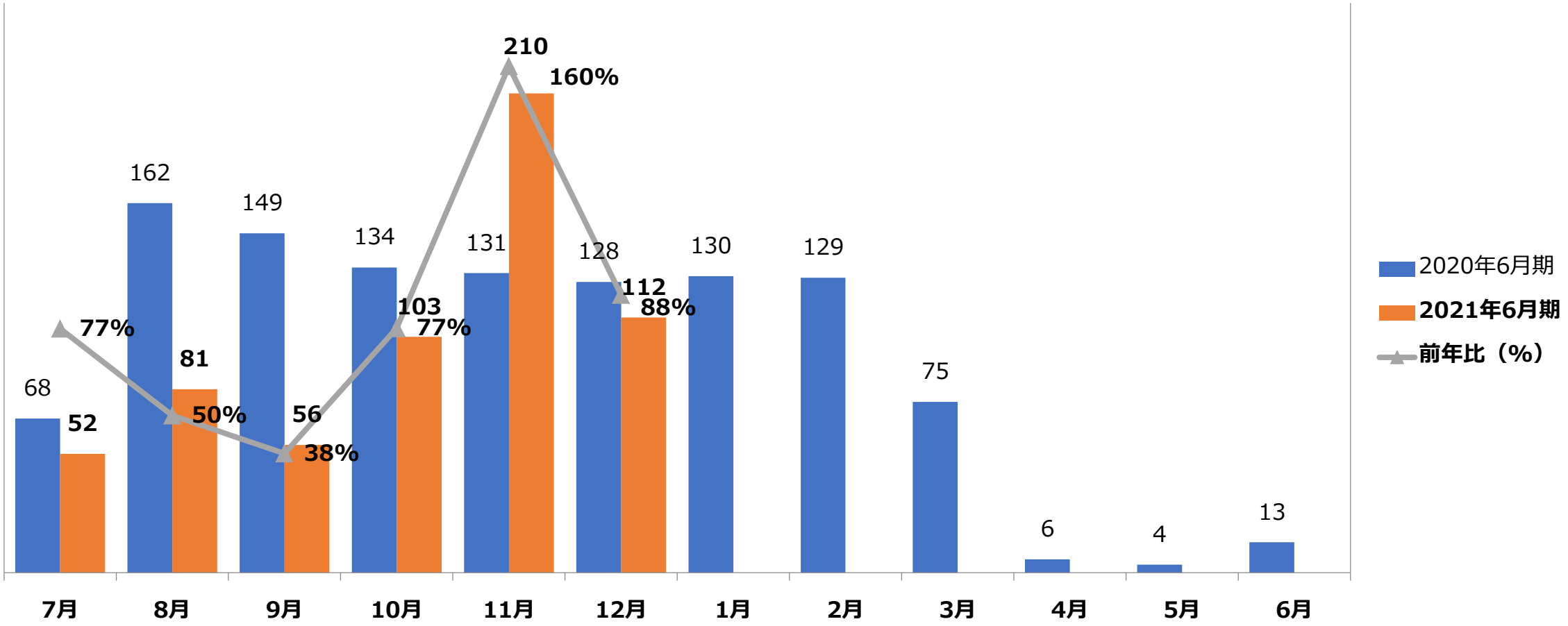
9. 主要サービス推移

⑤ホテル取扱高

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

GoTo一時停止により減少したが、前年比で比較的高い割合をキープ

（単位：百万円）



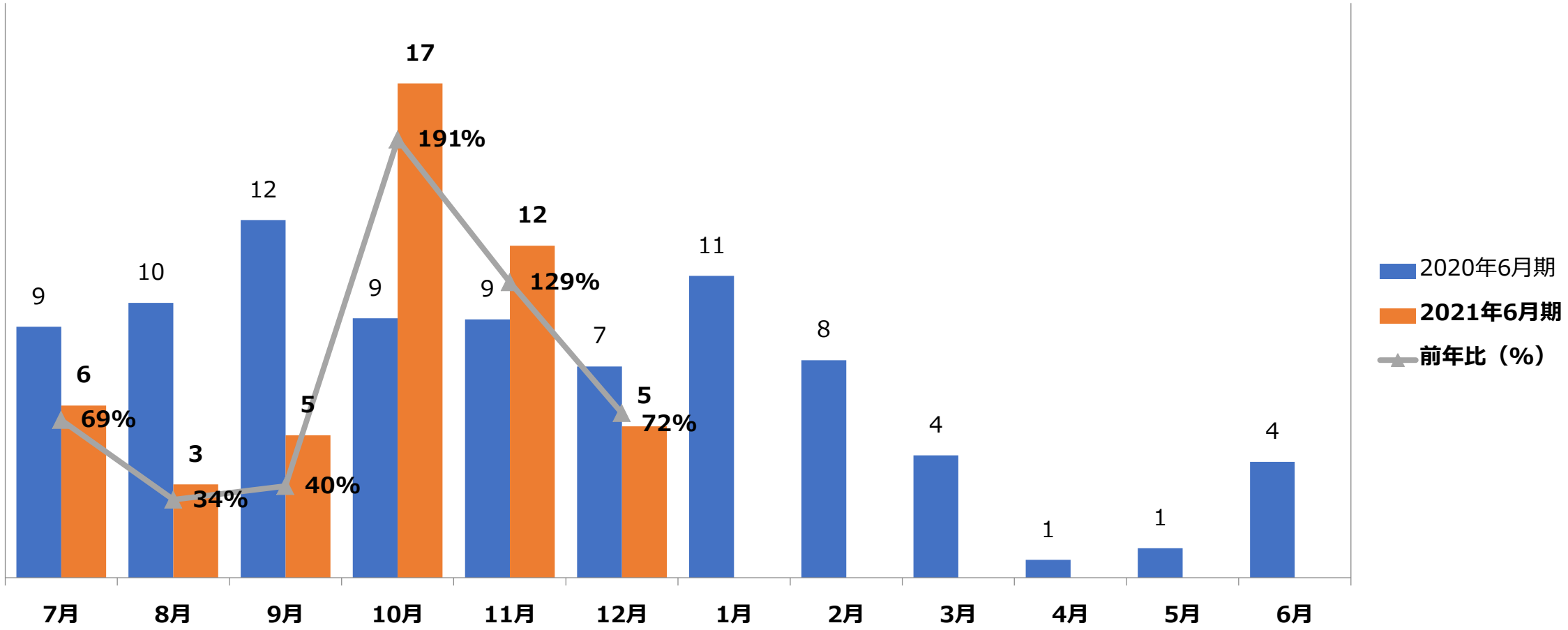
9. 主要サービス推移

⑥ホテル申込件数

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

9月から申込増加したものの、GoTo一時停止により減少

（単位：千件）

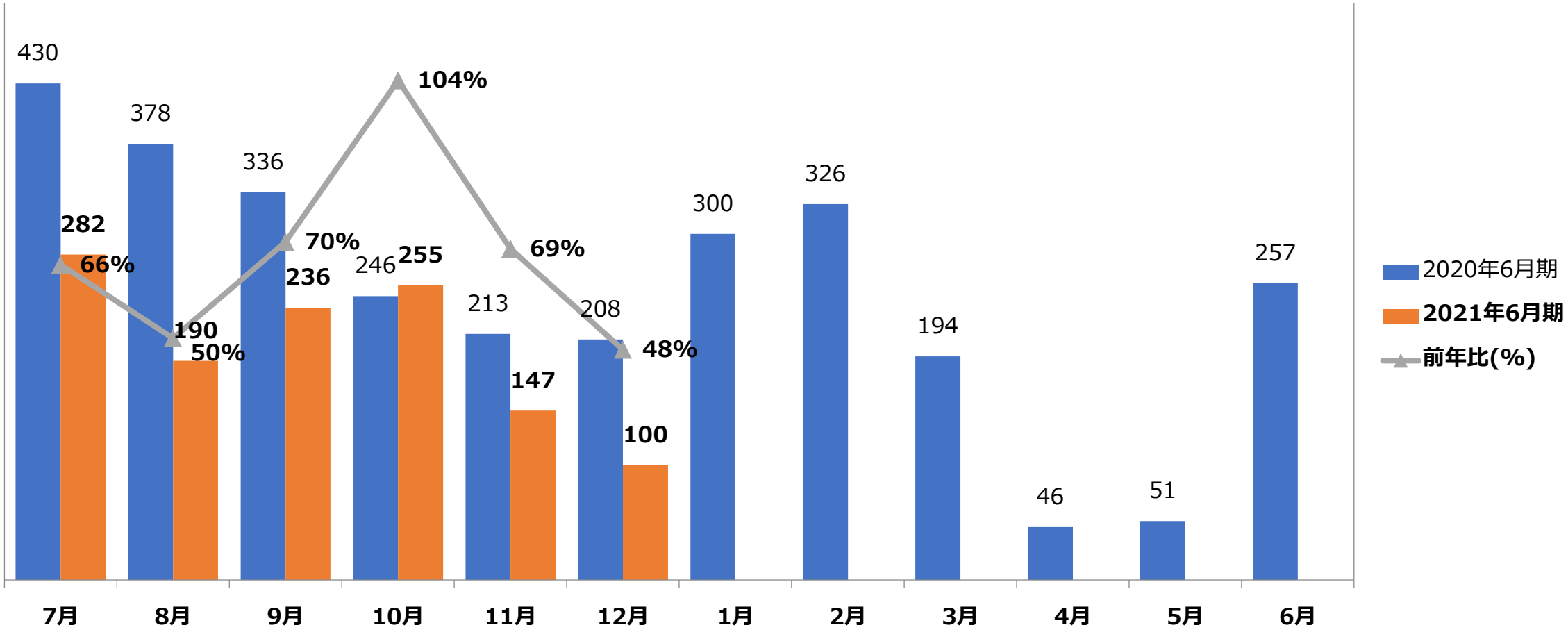


9. 主要サービス推移
⑦レンタカーグロス取扱高

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

GoTo一時停止の影響により減少傾向

（単位：百万円）

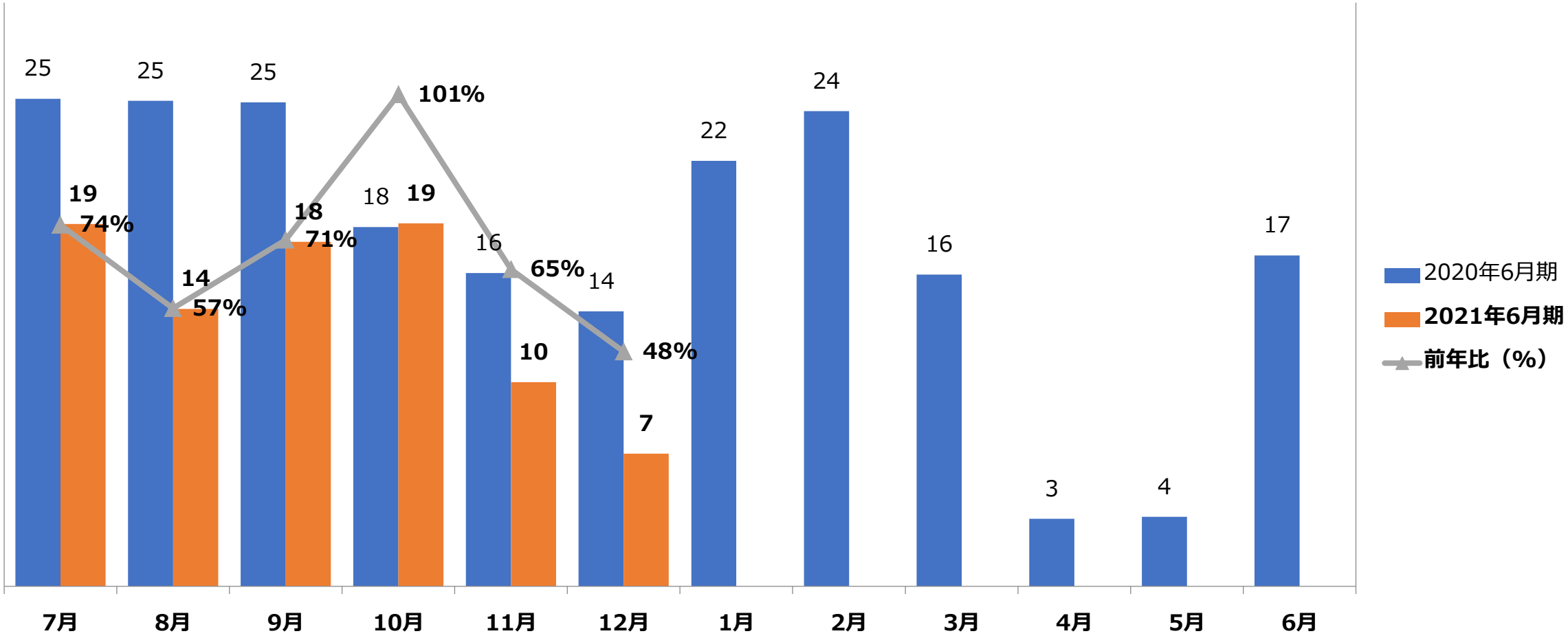


9. 主要サービス推移
⑧レンタカー申込件数

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

取扱高と同様にGoTo一時停止の影響により減少傾向

（単位：千件）



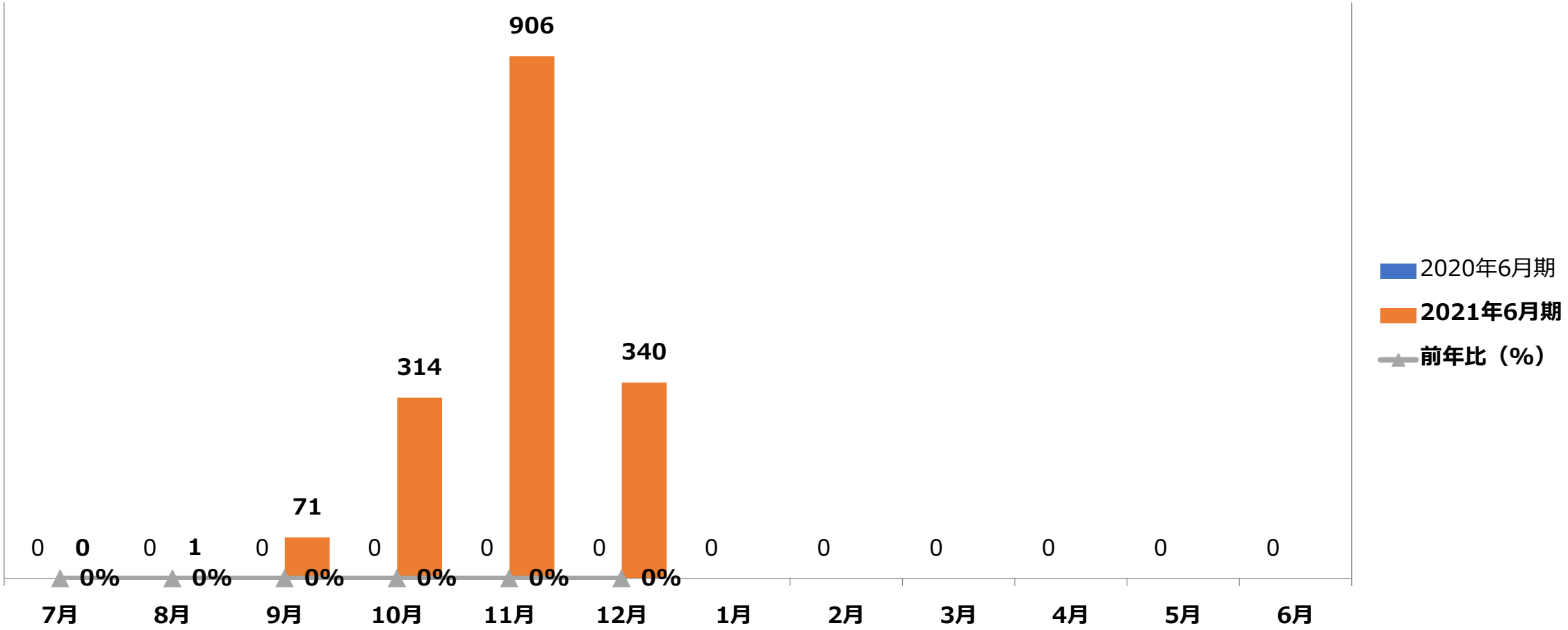
9. 主要サービス推移

⑨ツアー取扱高

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

新サービスのツアー取扱を開始し、滑り出しは好調

（単位：百万円）



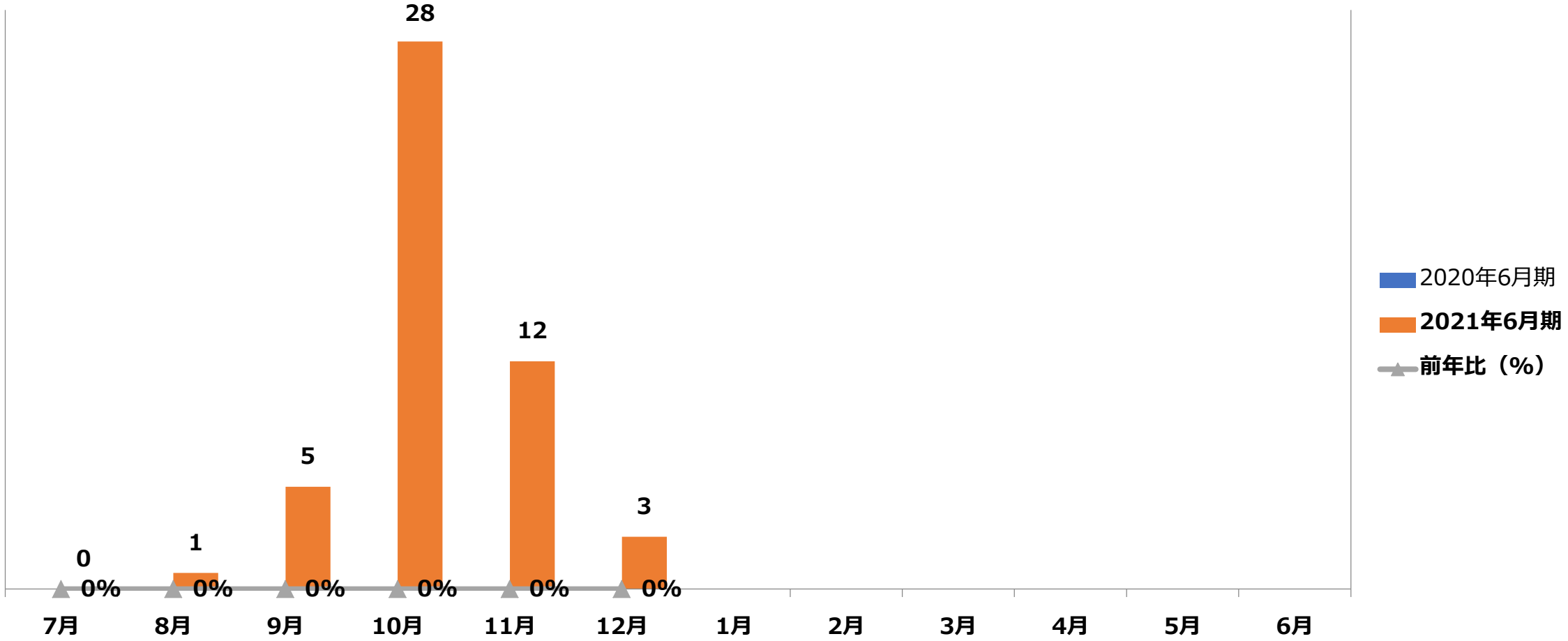
9. 主要サービス推移

⑩ツアー申込件数

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

コロナウィルス感染者数増加、GoTo一時停止等により減少傾向

（単位：千件）



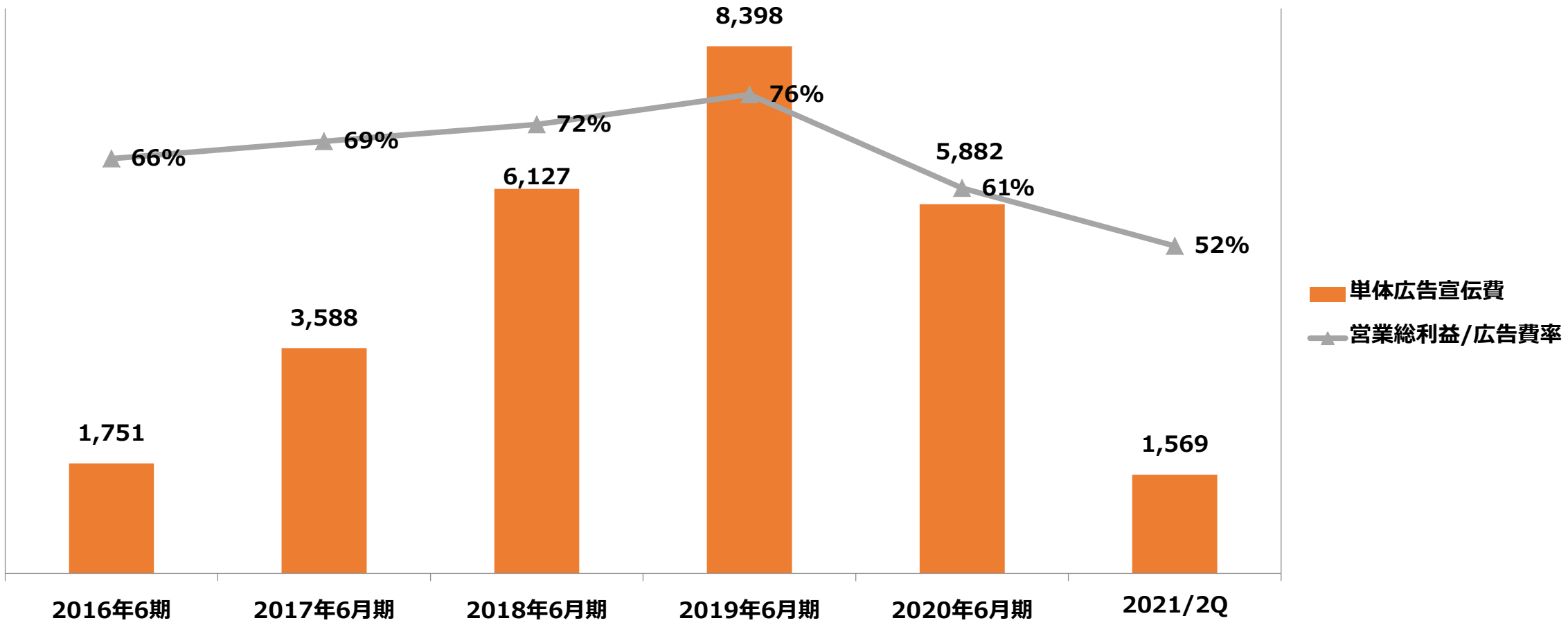
10. 各種KPI推移

①単体広告費推移

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

広告効率化、アプリシフト等により広告比率が減少

（単位：百万円）

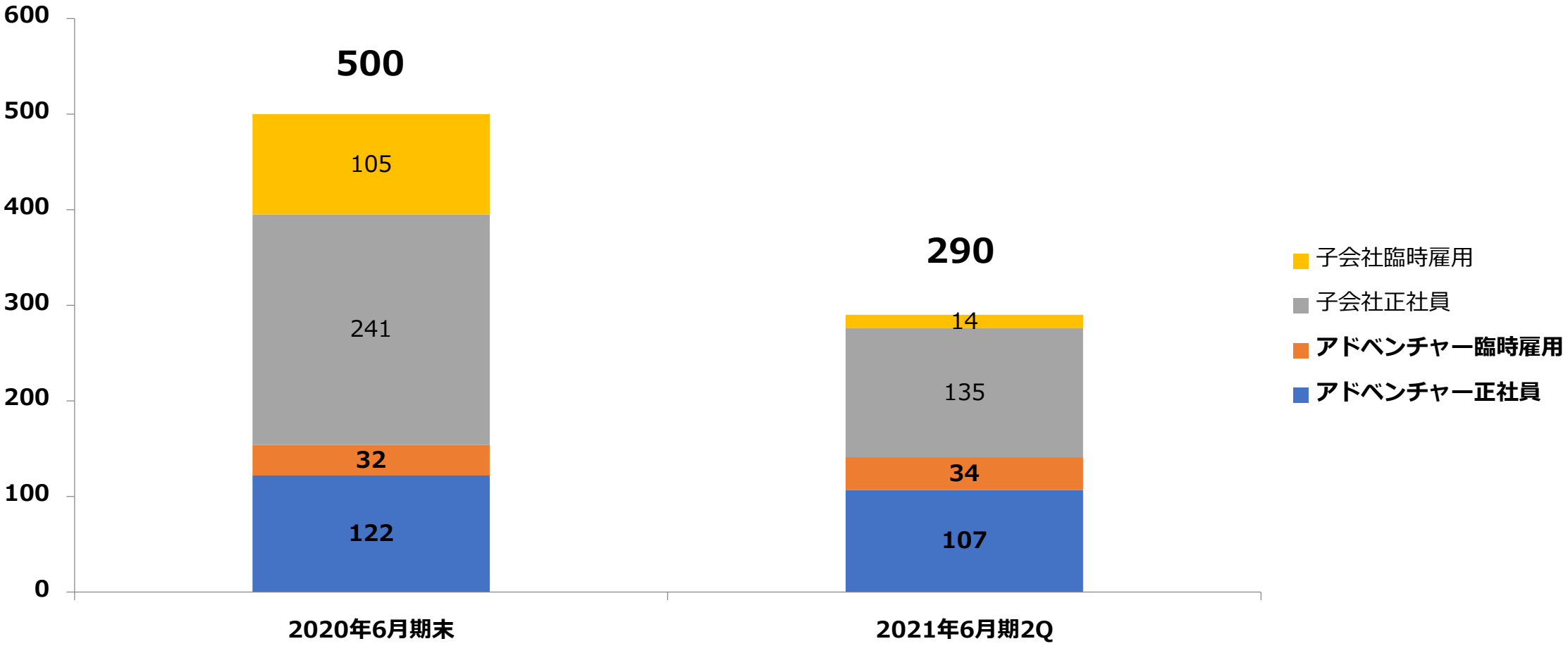


10. 各種KPI推移
②人員推移

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

子会社売却等によりグループ全体の人員が減少

（単位：人）



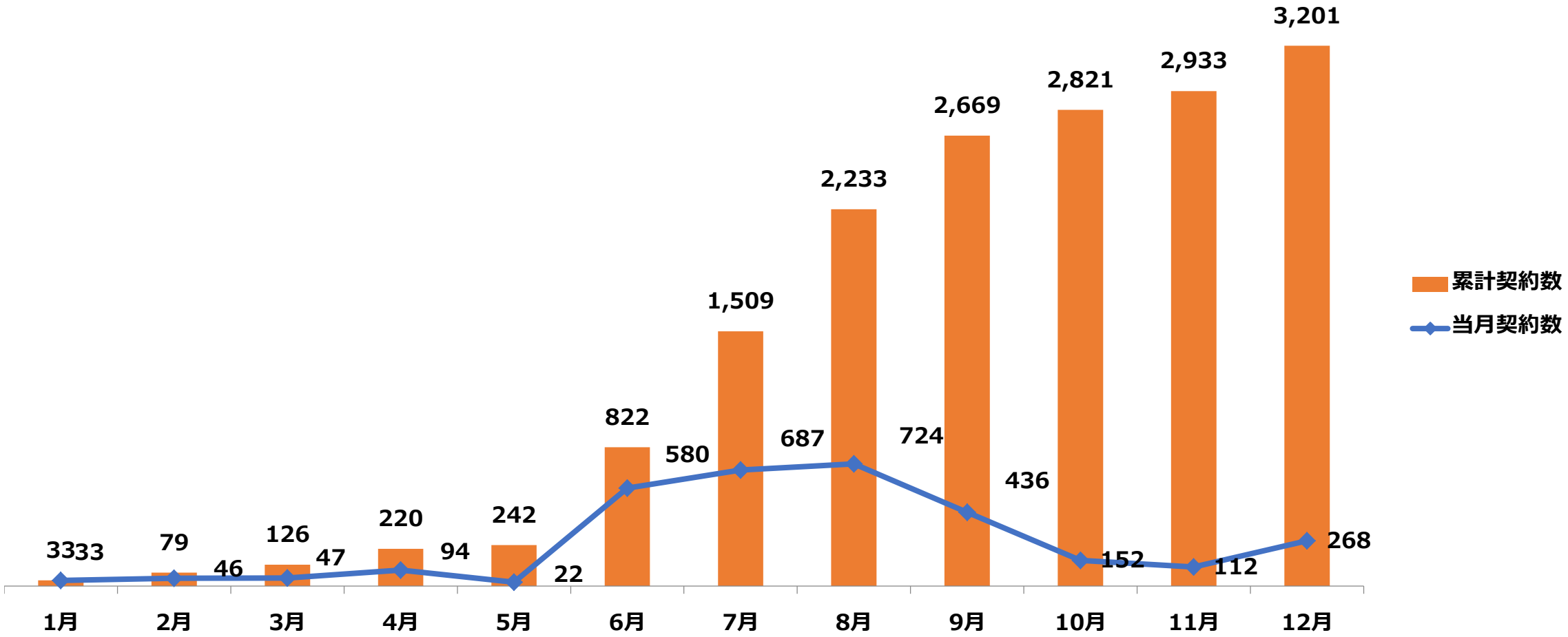
10. 各種KPI推移

③ホテル契約施設数推移

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

ホテル営業強化により契約施設数が増加

（単位：施設）



11. 子会社の状況

①子会社の概要

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

ADVENTURE
㈱アドベンチャー

旅行系

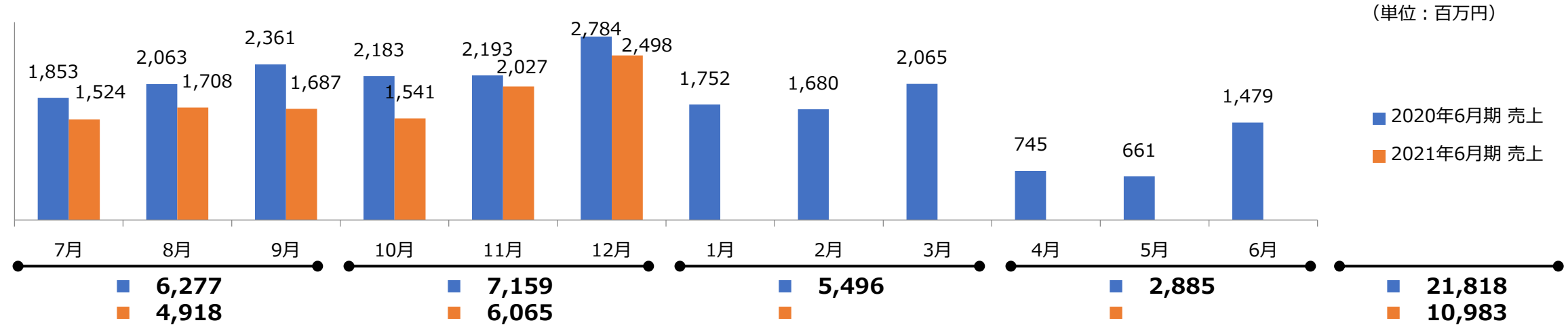
TET㈱	ラド観光㈱	コスミック流通産業㈱	コスミックGCシステム㈱	㈱EDIST
100%	100%	100%	100%	100%
2018/6取得 ・航空券の発券/仕入 JAL認可代理店	2019/1取得 ・ツアー企画/販売	2018/2取得 ・チケット二次流通/両替事業 株主優待券で取引あり	2018/2取得 ・ギフト券販売	2018/12事業譲受 ・衣料品等のレンタル業 ➥事業の選択と集中 により売却予定
前期実績 売　上：57百万円 営業利益：46百万円	**前期実績** 売　上：3,244百万円 営業利益：44百万円	**前期実績** 売　上：21,818百万円 営業利益：11百万円	**前期実績** 売　上：6,670百万円 営業利益：▲3百万円	**前期実績** 売　上：388百万円 営業利益：▲76百万円

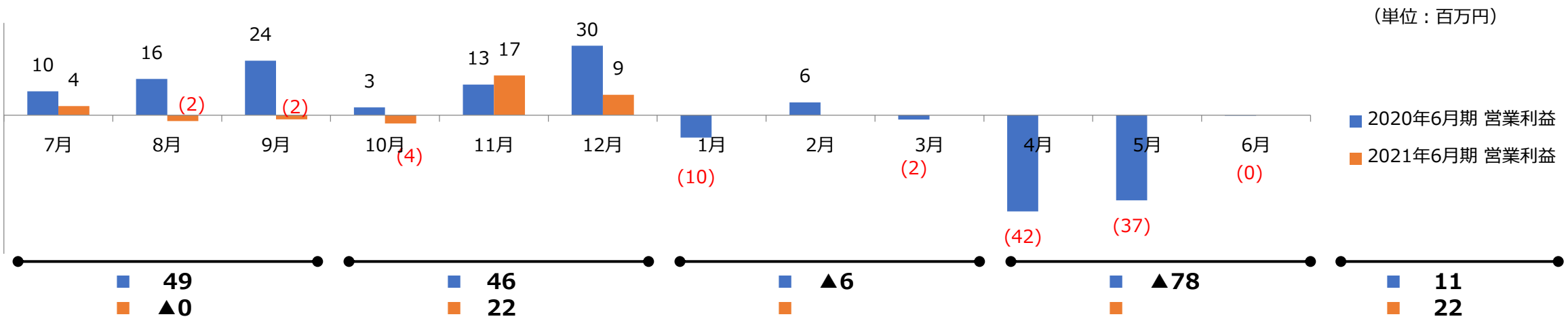
※実質稼働中の子会社のみ記載

11. 子会社の状況
②コスミック流通_実績

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

2020年5月の緊急事態宣言解除後（店舗営業再開後）は売上が上昇傾向

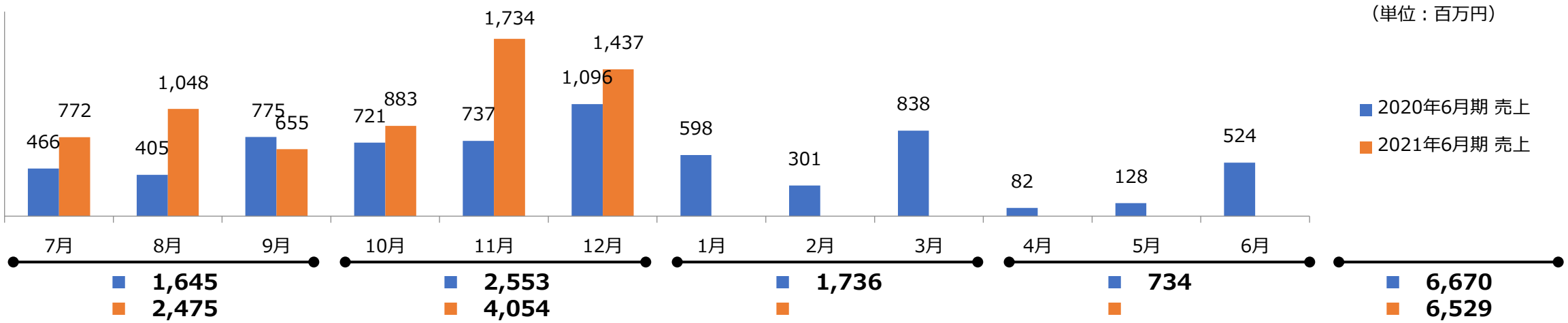


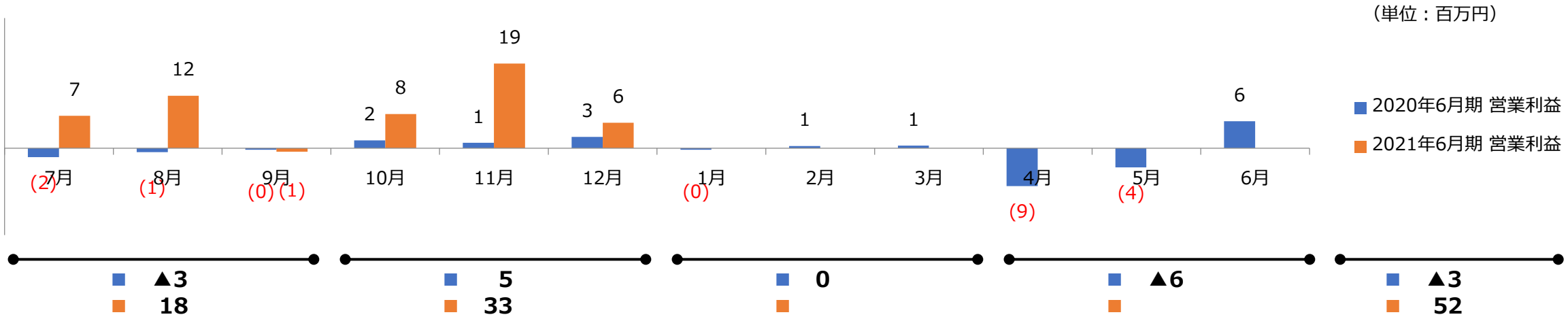


11. 子会社の状況
③コスミックGC_実績

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

商品券等の売上が好調で、利益と共に増加

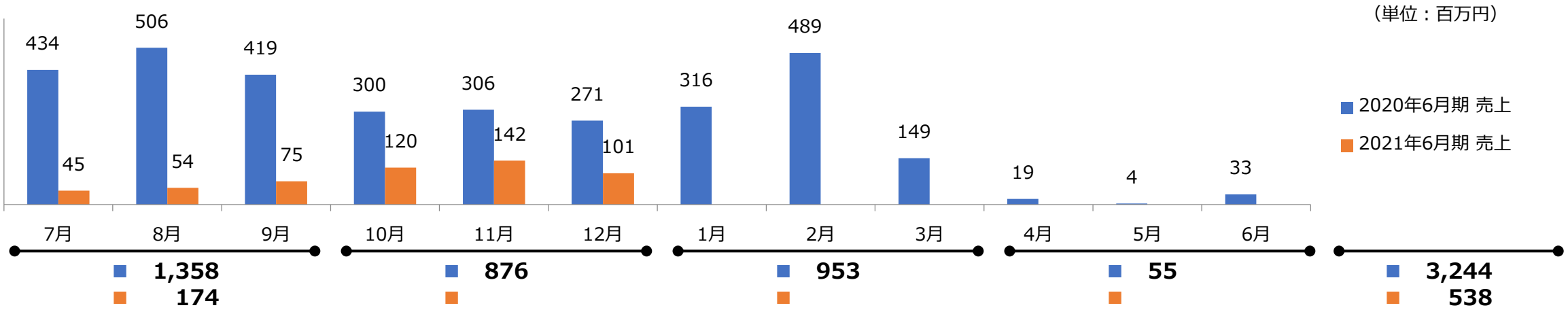


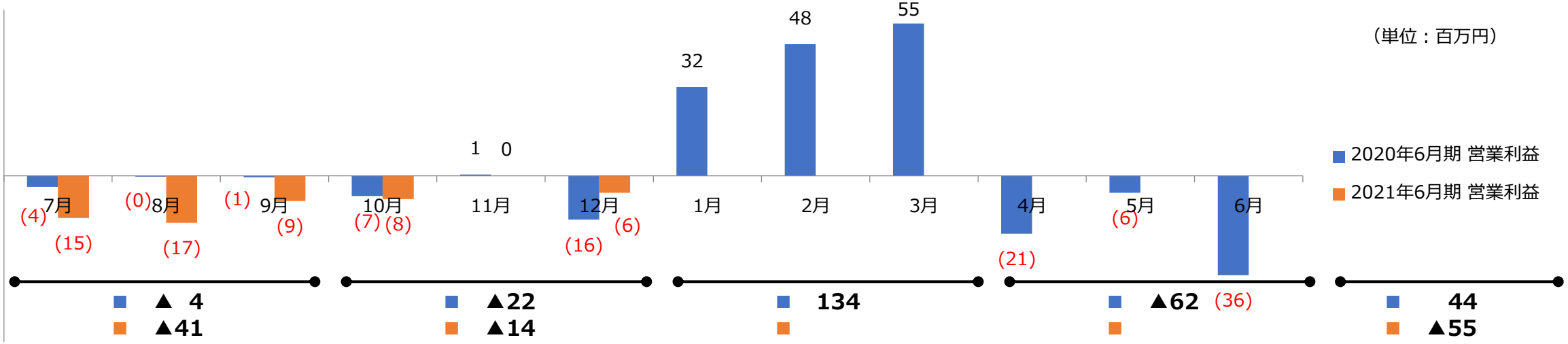


11. 子会社の状況
④ラド観光_実績

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

売上減少がみられるが、コスト圧縮により利益への影響を最小化





11. 子会社の状況
⑤子会社の現状と今後の展望

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

カテゴリー	会社	状況
設備投資	各社	今期はコロナの影響もあり、設備投資及び採用は現状では計画していない
売上	流通	来店顧客数は減少傾向
	GC	経済的な不安により商品券等の需要が増加
	その他	コロナの影響により売上が減少
利益	流通	一部店舗で家賃減額、不採算店舗閉鎖等によるコスト削減
	GC	商品仕入強化により利益が増加
	その他	緊急事態宣言下でも大幅な赤字は現時点では見込まれない
その他	EDIST	引続き売却予定

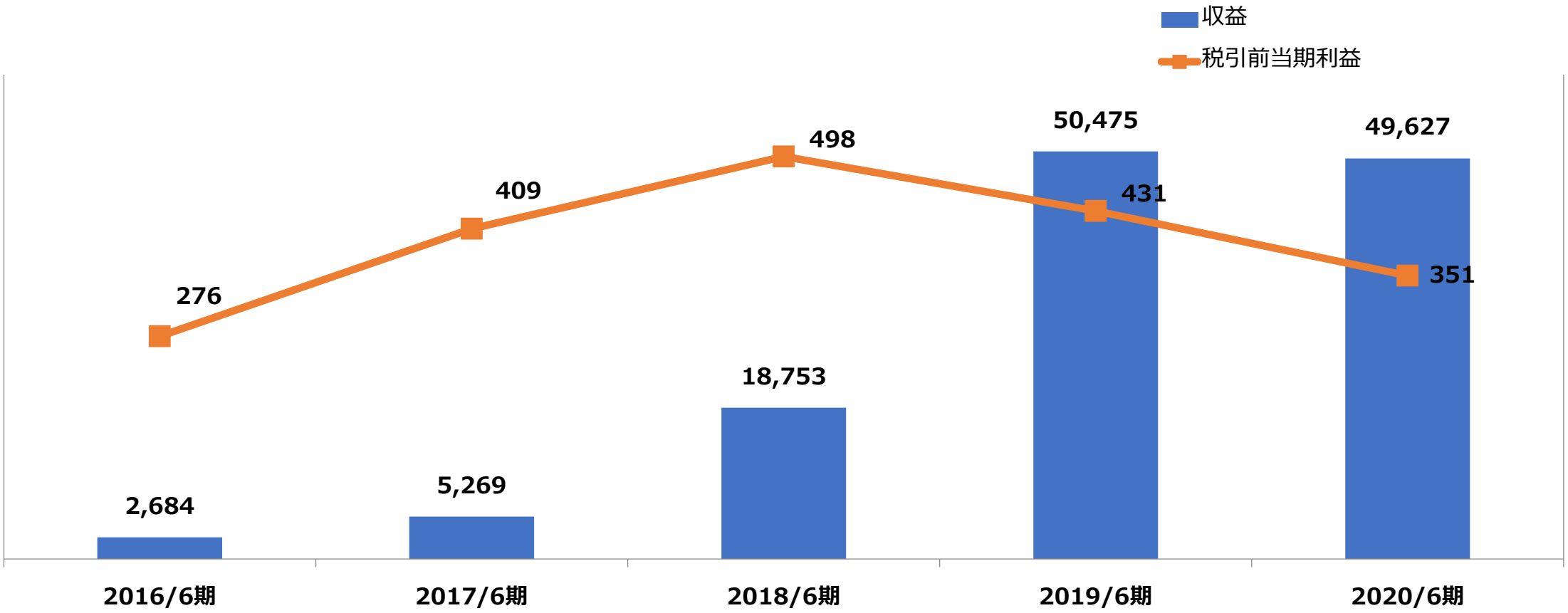
12. 業績推移

①過去の業績推移

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

2019/6期：M&Aにより増収
2020/6期：コロナの影響により減収

（単位：百万円）



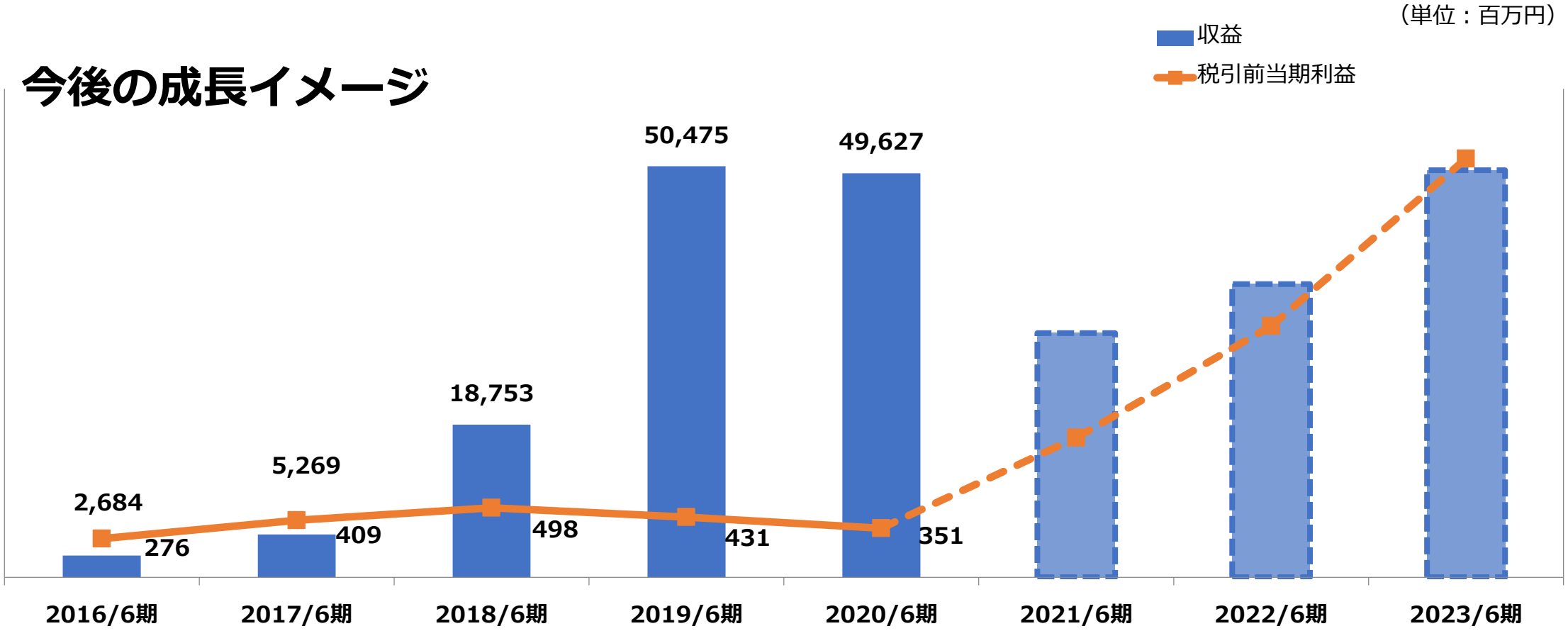
※2016年6月期、2017年6月期は日本基準の営業収益と経常利益を記載

12. 業績推移
②今後の業績目標

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

子会社売却等により減収が見込まれるが、増益を目指す

（単位：百万円）



※2016年6月期、2017年6月期は日本基準の営業収益と経常利益を記載

13. その他

①投資事業、M&A戦略

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

基本方針

旅行関連領域以外は積極的な検討はしない

（旅行関連領域でシナジー効果が期待できる場合は検討）

➥アフターコロナに向けた旅行関連領域への投資

：国内旅行のサービス拡充
：旅行関連の新サービス展開
：海外展開等

将来見通しに関する注意事項

ADVENTURE
～日本初のグローバルOTAへ～

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。